

# 合格体験記

氏名 S. A

## 【合格した自治体（校種・教科）】

大阪府、神奈川県（中学校・社会科）

### ① いつから勉強したか？また、どんな勉強から始めたか？

3年の半ばに、教職教養から始めた。

### ② あなたのオススメの教材とは！？

東アカの参考書。地図帳。データブック。

### ③ とっておきの勉強法

まずは東アカの参考書で勉強。次に問題集を使って確認。次の日に前日勉強した範囲を問題集で再度確認。そして間違った問題は翌日にまた問題集で確認する。できるまで何日もかける。

### ④ 1日に何時間勉強していたか？

最低4時間。長くて8時間。そのうち必ず2時間は自分の集中力をフル活用するようにした。

### ⑤ 息抜きの方法は？くじけそうになったときは？

毎日図書館の6階で勉強を共にしたナビの仲間と昼・夜とくだらない話で盛り上がること。

### ⑥ どの自治体を受けたか？

大阪府、神奈川県

### ⑦ ⑥を踏まえて、それぞれの自治体の面接や筆記（専門含む）などをどのように対策していたか？

集団面接練習はナビで25回ほど、個人面接は学務部主催の練習で3回ほど行った。筆記は、専門と一般教養を並行して勉強していた。各自治体の傾向を踏まえて、自分の苦手分野の中で焦点を絞って勉強した。

### ⑧ ゼミ（授業）や就活と教員採用試験の兼ね合いは？

就活はしていない。文系なのでゼミとの兼ね合いを気にする必要もあまりなかった。卒論を書きだすのは、教員採用試験が終わってからなので、教員採用試験の為に費やす時間の方に比重を置いた。

### ⑨ バイトやボランティアはどうしていたか？

スクールボランティアは3年生の時に1年間行っていた。バイトは教員採用試験のために休業した。

### ⑩ 大学生活中にやっておいた方がいいこと！

たくさんの人と関わること。好きな人、尊敬する人も然り、嫌いな人からも反面教師として学べるこ

とが多い。

**⑪ ナビの良かった点は？**

たくさんの人と関われること。真面目な話もできる仲間がいることで、自分と対話できる機会が多い。

**⑫ あなたはどんな先生でありたいか？**

家庭環境や自分の課題等で悩み、苦しんでいる生徒が心の拠り所とできるような教師。生徒が信頼できる「大人」。「中学生」という彼らの世界と、「大人」の世界との懸け橋になれるような教師。

**⑬ これから教員採用試験を受ける先生の卵たちへ！**

教員採用試験は自分の過去や自分自身と真に向き合える機会でもあると思います。その中で、人との衝突、先生からの厳しい言葉、人前で恥をかく、自分自身が成長できた喜び、仲間の支え、焦り、感謝、たくさんの経験をし、様々な感情が胸中を占めることでしょう。ですが、この世のどんな力もあなたがした経験を奪うことはできません。あなたの人生で一度きりであなたにしかできなかった経験、その一回生と唯一性は、一人一人の人間を特徴づけ、一人一人の存在に意義を与えるものであると、私は信じています。どんな経験も意味のあるものとして捉え、くじけずに前向きに進んでください。1年後、同じ教壇に立って、生徒のためにお互いに切磋琢磨し合えることを楽しみにしています！！